

ウツディ エイジ

◎木材の研究と普及◎ 監修：林産試験場



循環型森林整備の実現を目指して
～当麻町の町産材利用促進の取組み～

ウッドエイジ

木材の研究と普及
第63巻・通巻727号

目次

北海道林産技術普及協会からお知らせ 『総会記念講演』～平成26年度通常総会記念講演～ …… 1A 循環型森林整備の実現を目指して ～当麻町の町産材利用促進の取組み～ …… 2A	
間伐により木材の生産量や材質がどう変わるのか ～カラマツの研究例～ …… 1 DNAで土壌中のマツタケ菌を探す …… 4 構造部材としての合板の耐用年数は推定できるのか …… 6 Q&A先月の技術相談から 〔技術研修の申込み方法について〕 …… 10 行政の窓 〔林野庁平成25年度補正予算成立 平成26年度予算概算決定について〕 …… 11 林産試ニュース …… 12	



北海道大学 森林圏ステーション 幌加内町字母子里

雨龍研究林の中核施設である森林圏ステーションは、-41.2度を記録した日本最寒の地、母子里に建っています。

どっしりとした三角の大屋根と木製サッシ、木質外装材という北国の建物らしい造りで、暖かみのある存在感を放っていました。